

## 平成 30 年度 “KOSEN（高専）4.0” イニシアティブの評価に係る推進会議所見

- このたび、独立行政法人国立高等専門学校機構本部 “KOSEN（高専）4.0” イニシアティブ推進会議は、昨年度に引き続き、49 国立高等専門学校から申請された 78 件の事業計画に関して、各国立高専の校長による書面審査及び本推進会議委員による面接審査を行い、34 件の支援対象候補事業を選定した。
- 本事業は、「新産業を牽引する人材育成」、「地域への貢献」、「国際化の加速・推進」を軸に、第 4 期中期目標期間（平成 31 年度から 5 年間）に向けたカリキュラムの改訂や組織改編などを伴う取組を通じて、各国立高専の強み・特色を伸長することを目的としており、各国立高専においては、本事業を通じて、その在り方・役割（ミッション）を自ら見つめ直すことが期待されるものである。
- 昨年度からの継続 37 件の事業に加え、本年選定された 34 件の事業は、第 4 期中期目標期間に向けて、各取組を着実に推進し、各国立高専の強み・特色を十分に活かした人材育成、地域貢献、国際化に邁進することを期待する。
- また、選定されなかった事業については、方向性等が大きく否定されるものではないものの、第 4 期中期目標期間に向け、強み・特色の強化の充実のため、内容・方法を早急に再検討し、例えば、外部機関との連携や学内資源の再配分等により、まずは自立的に取組を進めることも考えられる。
- なお、面接審査においては、説明者の熱意にもかかわらず、事業の具体性やイメージを推進会議委員が理解しづらく、残念ながら選定に至らなかった事業もあった。今後、自らの取組を地域社会や企業等に対して説明するような場面があれば、説明の仕方や時間配分などを十分に準備、工夫したうえで臨まれることを期待する。
- 最後に、本事業は、第 4 期中期目標期間に向けた事業であることを踏まえ、来年度以降の各国立高専の本格的な特色ある取組に期待するとともに、各国立高専と地域や産業界、学校種を越えた連携等により、高専教育の高度化が一層図られ、引き続き、我が国の産業界を牽引する人材が輩出されることに期待したい。

平成 30 年 6 月 26 日

独立行政法人国立高等専門学校機構本部

“KOSEN（高専）4.0” イニシアティブ推進会議

座長 三島 良直